

体育科学習指導案

平成27年6月5日（金） 5校時

南三原小学校 3年1組

男子10名 女子12名 計22名

1 単元名 多様な動きをつくる運動

～体を動かす楽しさや心地よさを味わう～

2 単元の目標

- (1) 活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きや技能を身に付け、体力を養う。【技能】
- (2) 協力、公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、最後まで努力して運動をする態度を育てる。【態度】
- (3) 健康な生活及び体の発育・発達について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。【思考・判断】

3 運動の特性と子ども

(1) 運動の特性

- ・多様な動きをつくる運動は、小学校の低・中学年の時期に「体の総合的な動きを身につける」ことを直接のねらいとして行われる運動である。【運動の魅力】
- ・高学年の「体力を高める運動」のように、直接体力の向上をねらいとすることは難しいので、将来の体力の向上につなげていくために、器械運動やゲームなど、体づくり運動以外の各運動領域で扱いにくい様々な体の動きを培う必要性から生まれ、行われる運動である。【機能的特性】

(2) 子どもから見た動きのおもしろさ

あらかじめ意図的に用意された、様々な体の基本的な動きを培う運動ができるかどうかがおもしろい。具体的には、バランスを保つ、速さ・リズム・方向などを変えての体の移動、いろいろな用具の操作、重い物をもったり力比べなどをしたりして、それらができるかどうかがおもしろい運動である。

4 児童の実態

本学級の児童は、男子10人女子12人で構成されていて仲が良い。しかし、グループでの学習になると話し合いが噛み合わず作業がうまく進まないことがよくある。4月から「体づくり」の運動を意識して体育の学習に取り組んできた。体づくり学習の導入で、学年合同研修を行った際には、「紙の新ちゃん」や「たこの動き」「ジャングルの中の歩き」等、多様な動きを経験することができた。新しい動きを発見し、楽しく取り組むことができた。「こんどは、いつが研修ですか。」と問いかける児童も多く、次の機会を期待している。

体育学習のアンケートでは、「体育の学習は好きですか」という問いに「好き」と答えた児童が20人、「好きではない」と答えた児童は2人だった。「好きではない」の理由は、「めんどうだから」という返答だった。器械運動が苦手という意見が多かった。ボール運動を好んで取り組む児童が多く昼休みに、「ドッジボール」や「サッカー」をする様子が伺える。投げる速さやコントロール等、技の習得に個人差はあるが、ボール運動が楽しいと感じている児童は多い。

体育学習に関するアンケートの結果

質問	結果	
①体育の学習は好きですか。	好き（20人）	好きではない（2人）
理由	動くことが好き・友達と遊べる・ボール運動が好き	めんどうである。
②体育ではどんな学習が好きですか。（複数回答可）	ドッジボール（20人）なわとび（11人）サッカー（12人）鉄棒（13人）水泳（20人）跳び箱（ 人）	
③体ほぐしでは、どの運動が楽しかったですか。	風船（22人）ボール（21人）なわとび（14人）マット（11人）フープ（19人）	
④放課後や休日、どのように過ごしていますか。	スポーツ部に所属して練習に励んでいる。（23%） ゲームで遊んでいる。（40%） 家族でのお出かけが多い。（37%）	
⑤話し合い活動には進んで参加していますか。	はい（15人）	いいえ（7人）
理由	みんなで楽しみたいから。参加しないと相手が困る。	運動するだけで精一杯。ついていくほうが楽。

5 研究主題との関わりについて

（1）研究テーマ

運動に親しみ進んで運動に取り組む児童の育成

サブテーマ ～体づくり運動を通して～

今回のアンケートで、休日の過ごし方は、ゲームで遊ぶことやインターネットを活用したりしながら遊んでいる子も多いことがわかった。また、部活を中心に活動している子もいて、3割近くはスポーツ部に所属している。運動時間の減少、運動する子どもとそうでない子どもの二極化や子どもの体力低下傾向、生活習慣の乱れが低学年から見られることなどの課題を踏まえ、従前と同様に「生涯にわたって運動に親しむ資質能力」と「健康な生活を送る資質能力」の基礎を培うことを重視するとともに、みんなで関わりながら、身近でできる運動の種類をひろげ運動に親しみを持つ児童の育成に努める。

6 指導にあたって

今年度初めての体育の学習である。日常化につながるような簡単な運動や伝承遊びは、経験していることも多い。そうした運動を通して、友達と一緒に運動する楽しさを味わい、心と体を解放して運動する心地よさを味わわせることが大切である。また、運動のねらいや意味を理解できずに、単に運動を楽しんでいる子どもや、ねらいからはずれた行い方をする子どもも見られるため、注意が必要である。

体ほぐしの運動には、「体への気づき」「体の調整」「仲間との交流」の3つのねらいが示されている。これら3つのねらいは、単独にあるのではなく、相互に関連し合って具体的な内容が導き出されると考えられる。つまり、体ほぐしの運動として取り上げる運動は、これらのねらいを複合的に含んでおり、また、複合的にねらいが実現されるように行わなければ意味がない。特に、「仲間との交流」は、体ほぐしの運動の最大の特徴であり、中心的なねらいともいえる。交流の形態は、2人組、グループ、学級全員というように様々である。そして、互いに触れ合い、かかわり合う体験を通して、体への気づきが生まれ、より確かな実感となる。大切なことは、3つの運動のねらいを子どもたちが意識して（意味を理解して）行うように指導することである。

(1) 場の工夫

多様な動きの5つの学習項目「体のバランスをとる、体を移動する、用具を操作する、力試しの基本的な動きを組み合わせる」それぞれ運動の練習ができる場を設け、始め全体で運動を行い、次はグループに分かれて工夫しながら運動に参加できるように用具を準備する。

(2) 技術面の指導の工夫

チェックポイント

【スティックランド】用具：棒

- ・スティックキャッチ……合図と同時に素早く動く、体育棒をしっかりキャッチする。

【ボールランド】用具：ボール

- ・バウンドキャッチ……リズムカルに動く、正確にボールをコントロールする。
- ・背面キャッチ、ジャグリング

【Gボールランド】用具：Gボール

- ・弾もう！……Gボールに座ったり、おなかで乗ったりして弾む。

【台上ランド】

- ・平均台の上で歩きながら、いろいろな歩き方、並び方に挑戦する。

(3) 学びあいの工夫

- ・チームでの役割を考えて、リーダーを中心に各コーナーでの運動に親しみをもたせる。
- ・めあてボードで運動の順番を確認し、協力しあって学習を進める。

7、単元の評価基準

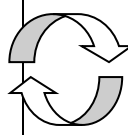
運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動や健康・安全についての思考・判断	運動の技能
<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動に進んで取り組もうとしている。 ・用具の使い方や運動の行い方のきまりを守り、友達と励まし合って運動をしようとしている ・友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ・運動する場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動の行い方を知るとともに、友達と一緒に運動をしたり用具を使って運動をしたりするなど、運動の行い方を選んでいく。 ・多様な動きをつくる運動の行い方を知るとともに、友達のよい動きを見付け自分の運動に取り入れれたり、動きの組み合わせ方を選んだりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な動きをつくる運動では、体のバランスや移動、用具の操作、力試しの動きとともに、それらを組み合わせた動きができる。

8 単元の評価計画

段階	時間	主なねらい・学習活動	評価基準			教師の指導・支援
			関	思	技	
や っ て み る	1	組み合わせた動きを工夫する。 ・DVDを視聴し、イメージをつかむ。 ・学習の見通しをもつ。 ・体のバランスをとる運動、用具を操作する運動に取り組む。	①			本時で取り組む運動の分類や動きのポイントを確認する。 基本的な学習のルールについて随時指導する。
	2	いろいろな動きを体験する。 ・学習の見通しをもつ。 ・体を移動する運動、 ・用具を操作する運動に取り組む。 ・力試しの運動。		①	②	学習の流れを確認する。 グループごとに準備する用具やセッティングの仕方をきめておく。

ひろげる	3	体を移動する運動や用具を操作する運動にチャレンジしよう（ペア・グループ） ・学習課題の確認 ・体を移動する運動 ・用具を操作する運動 ①ボール②棒③台	①		友達と声を掛け合ったり、互いに協力したりすることを助言する。
	4	体を移動する運動や用具を操作する運動にチャレンジしよう（ペア・グループ） ・学習課題の確認 ・体を移動する運動 ・用具を操作する運動 ①ボール②フラフープ③台	①	②	グループの友達の動きや他のグループの友達の動きのよいところを見つけて自分も真似してやってみるように声をかける。

9 指導計画

	1	2	3	4
【分】	オリエンテーション	いろいろな動きで運動しよう。 ストレッチ ヒップウーオーク	リズム等	
10	やってみる			ひろげる
20	いろいろな運動をみんなで楽しくやってみる。			体を移動する運動や用具を操作する運動にチャレンジしよう（ペア・グループ）
30	体のバランスをとる運動。 （まわる・ねころぶ・おきる・すわる			基本的な運動を組み合わせグループで取り組む。
40	たつ・わたる） 力試しの運動。		学習カードの活用。 体を移動する運動。	
45	用具を操作する運動。 （ボール・Gボール） グループタイム。		（はう・歩く・走る・とぶ・はねる・登る 下りる） 用具を操作する運動。 （ボール・小ボール・棒・マット）	
	感想発表		次時の説明	学習カードの記入

10 うるま市具体的実践9項目との関わり

(1) ねらいを明示した授業の実施

- ・学習の課題をグループ全体で確認できるように学習カードを活用する。

(2) 教材・教具・説明の工夫

- ・ならいに応じた動きが組み合わせられるように身近な教具を準備する。

(3) 言語環境の整備と言語活動の実施

- ・グループのリーダーに進んで協力したり、練習中に励まし言葉やふわっと言葉が使えるように声かけをする。

(4) 習得したことを活用する場の設定

- ・体ほぐしで学習した動きから、いくつかの動きを組み合わせるコースを設定しグループで運動に取り組むようにする。

1 1 本時の指導 (7/8)

(1) 本時の目標

用具を使ったり力試しをしたりして、いろいろな動きを身につける。

(2) 授業仮説

グループで用具を使った運動に取り組むことで多様な動きに親しむことができるであろう。

(3) 準備物

ボール5個 ・カラーコーン16個 ・学習シート4個 ・バランスボール5個 ・台8個
スティック5本

	主な学習展開	教師の働きかけ	評価
導入 分	1. 準備運動 2. ストレッチ体操 前時の学習(体ほぐしをする)	・けがの防止のためにしっかりと柔軟体操を促す。	
展開 32分	3. 今日のためあてやルールの確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">めあて：いろいろな動きで運動しよう。</div> 4. 用具の準備をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">Gボールランド ・体のバランスをとる。 スティックランド ・素早くキャッチする。 ボールランド ・ボールをコントロールする。 台上ランド ・いろんな並び方に挑戦する</div>	・学習の流れがわかりやすいように掲示物を用意する。 ・学習が早くスタートできるように声をかける。 ・紹介されている以外の動きでもいいことを説明する。 ・グループの学習シートでめあてを確認するように声かけをする。 ・動きの良いグループを取り上げて動きのコツを全体で共有する。	・体づくりのための運動の行い方を工夫している。【思考・判断】
まとめ 5分	5. 本時の学習を振り返る。 運動を通して気づいたことや良かったことを発表する。	・友達やグループでのよい動き称賛し、次時の活動につなげる。	